

認定NPO法人底上げ 2023年度活動報告書

S O K O A G E

ACTIVITY



R E P O R T

contents

- 2 理事長挨拶
- 3 スタッフ紹介
- 4 ニュース
- 5 気仙沼の教育・人材育成支援
- 6-8 若者エンパワメント
- 9 収支報告 / 助成・寄付団体
- 10-11 対談
- 12 認定 NPO 法人底上げについて

理事長挨拶

底上げの商品は働く「ひと」であると思っ
ていますが、本年度はその「ひと」の成長度合いを
可視化しようと、底上げ独自のルーブリックを
作成しました。
一部ご紹介すると「探究の問いを立てる力」「よ
り良い未来をえがく力」など底上げっぽい指標
があります。人の成長に終わりはありません。
引き続き成長と貢献を意識して事業を推進して
いきたいです。

矢部寛明

MEMBERS

01. 矢部寛明

2011年3月気仙沼入り。底上げ
を作り、底上げに底上げされた本
人。蔵王山麓に妻と息子二人で
暮らしています。大学の教員と
NPOのダブルワークは僕にあって
いると思う今日この頃です。

#子育て #問いかけ #マイン
ドフルネス

02. 横山沙織

2016年より底上げに参画。東北
沿岸最南のいわき市から主にリ
モートで動いています。CAMP
のデザインを機に「本来性」「ま
なびほぐし」について改めて考え
るこの頃。

#堆積ん読 #虎に翼 #4歳の壁

03. 成宮崇史

2011年8月に気仙沼に入り、底
上げを設立。その後も気仙沼に定
住し、様々な人の伴走支援を中心
に、日々の姿容をテーマに楽しみ
ながら活動しています。ライフス
テージも変容した2023年度でした。

#対話 #問い #燦誕

04. 日野涼音

山形県山形市出身、東北芸術工
科大学卒、3人兄弟の長女。2022
年度より底上げに参画。最近の魔
女修行の成果は、満月と新月が近
いとわかるようになったことで
す。拠点で野菜を育て始めました。
育ちますように。

#にんげん #地球 #片づけ

06. 齊藤祐輔

2011年4月に気仙沼に入り、底
上げ設立から参画。若者の well-
being をテーマに実践と研究を
行ったり来たりしています。あと
東北の山を登ったり下ったりして
います。

#登る #生きる #読む

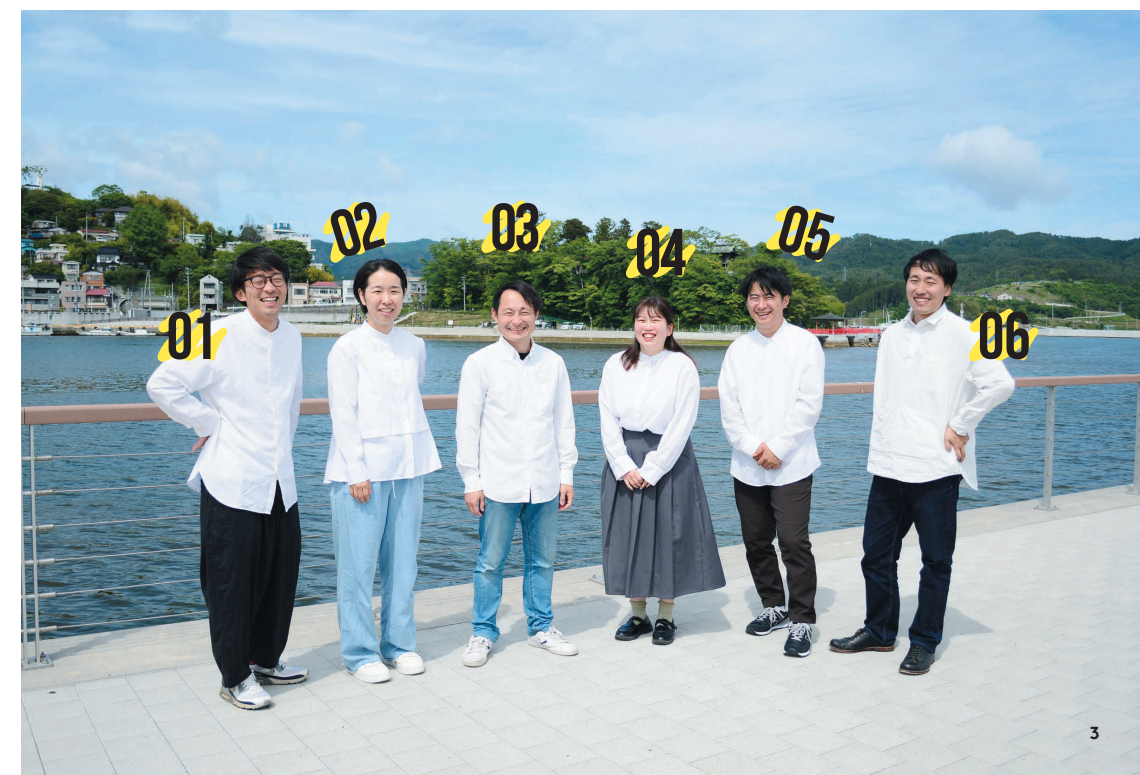
05. 中野柊一郎

宮城県仙台市出身。大学時に宮城の子どもの居場所づくりを行なう団体を立ち
上げる。大学卒業後、2022年度より底上げに参画し、修行中。2023年度は、
仲間と力を合わせて活動することの面白さに納得する一年でした。

#居場所づくり #事業構想 #毎月100キロラン

この度、2024年の6月をもちまして、底上げを退職することとなりました。2022
年4月からの2年と2ヵ月で、とても多くの出会いと学びを頂きました。この場を
お借りして、お世話になった方々に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

7月からは大学時代に大学の同級生たちと始めた「manaco」という団体で、宮城の
子どもの居場所づくりを行なう活動に専念します。僕はこの2年間で、仲間と一緒に
何かをすることの楽しさ・面白さを学び、心の底から寄り添ってもらい、見守られ、
応援されることの暖かさを感じ、目の前にいる人と愚直に、誠意をもって向き合うこ
との大切さを改めて実感しました。この2年間を最大限に活かし、宮城の子どもたち
が「生きてよかったな」「生きるって楽しいな」と思えるような居場所づくり
の活動を行なってまいります。何かの機会で皆さんにもご報告したいですし、一緒
できることがありましたら、とても嬉しいです。今後ともよろしくお願ひいたします。



2023
年度底上げ
ニュース

成宮娘誕生 ～ Hello, New World ～

愛に愛され愛に溢れた、かわいすぎる「そよ花」様が成宮家に降臨いたしました。ライフステージも変わり、よりいっそう魂を震わせながら活動に全力で邁進していきたいと思えます。気仙沼で育っていく子どもたちが、ステキだなどしっかり感じてもらえるようなまちづくりを頑張ります。



りよりよ、社会教育士になる

島根大学社会教育主事講習を受講し、晴れて「社会教育士」「地域教育魅力化コーディネーター」となりました！7月から1月まで島根に2ヶ月に1回通い、オンライン授業を受けながら受講した半年間。全国の仲間と繋がることができたこと、理論と実践を横断しながら活動できたことがとても楽しかったです。ここからも貪欲に学び続けたいです！



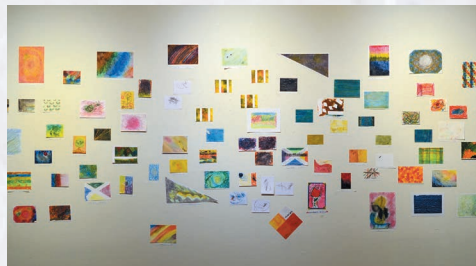
矢部 2年連続デンマーク視察へ

2年連続でデンマークへ。一番の学びは何と言っても「ごみ焼却場」あ。。普通のごみ焼却場ではないんです。コペンヒルと言われるその建物は、洗練されたデザインが作り出す壁。いや山。スキーやクライミング、屋上ではパーティーもできちゃう。「え？」謎ですよね？謎だったんです。ごみ焼却場を厄介なものではなく、生活の中心に置く発想…。パラダイムシフトが最高すぎました。



底上げポッドキャストはじめました！

対話が大好きな底上げスタッフの、「最近どう？」からはじまるゆるいようで深いかもしれないおしゃべりをポッドキャストにて発信開始しました。その名も「NPO 法人底上げの東北ウェルビーイングラジオ 最近どう？」Spotifyにて発信中です。どなたでも無料で聴けますので、気軽な気持ちで聴いてみてください。トークテーマいつでも募集しております！



旅するオイルパステル展

-Reflection- 心の深層に潜む感情と自己探究の旅

SOKOAGE CAMPで人気のワークを切り出して、展示会をしてみたらどうだろうか？そんな問いから始まった今回の企画。仙台のギャラリーを6日間貸し切りのべ100名以上の方に鑑賞、制作と関わって頂くことが出来ました。制作したものを展示ということで、日に日に壁に作品が増えていく様子がとても楽しく、新たに増えた作品達が、次の来場者の刺激になり、制作につながるという、まさに誰かの「内省」が誰かと「反射」し合う空間になりました。

気仙沼の教育・人材育成支援事業



気仙沼教育事業

気仙沼市役所、気仙沼市教育委員会、一般社団法人まるオフィス、合同会社 colere と協働しながら、市内の小中高生の探究的な学びの場作りや実践の伴走を行っています。「探究学習コーディネーター」として市内小中学校の探究の授業のサポートや、先生方への学びの機会提供、プロジェクト探究部の実施をしたり、「気仙沼学びの産官学コンソーシアム」のコーディネーター

として探究学習塾ナミカゼの運営や、未来アドベンチャーの同行をしたり、「気仙沼プロ探フェスタ」「気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード」で中学生・高校生たちの実践の発表の機会を作ったり、気づけば協働の形も年々広がっています。個人的にも”問い”を中心にした伴走スキルをひたすら磨いております。



気仙沼まち大学運営協議会

会員制シェアスペース「□ship (スクエアシップ)」を中心に、学びの場づくり、繋がりの創出、起業支援やプロジェクト伴走を通して、気仙沼市が目指す「対話・協働・共創による市民が主役のまちづくり」の実現に向け活動しています。2023年度は、これまで7年間の歩みを可視化するために、気仙沼まち大学構想のビジュアルの作成と「気仙沼まち大学祭'24」を実施

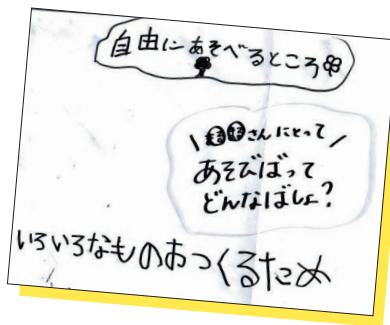
若者エンパワメント

ならはこどものあそびば

福島県双葉郡楡葉町の旧商店をお借りして、2022年度より、創作活動のできる遊び場兼居場所「ならはこどものあそびば」を行っています。2023年度は、週3回、放課後の時間開所し、こどもたちが延べ847名来所し、おもいおもいに自分の時間を過ごしました。また、大学生インターシップを4名受け入れ、夏休みには大学生企画のミニイベントも行いました。このあそびばでは、「こころが動く経験」を大切に、喜怒哀楽さまざまな感情に向き合える場として、こどもたちと向き合い続けていきます。



子どもたちからのメッセージ



田中 亜実
SOKOAGE インターン

大人は沢山のことを学び日々に追われ立派になっていくけどその過程で本当に大切なことを忘れてしまっているのでは？子供は成長してしまった大人とは違って、物事があるがままに捉えているんじゃないかと疑問に持ち、そんな時に「ならはこどものあそびば」のインターンに参加しました。子供達のその純粋で好奇心旺盛な視点と考え方に感銘を受けつつ、私の日々の生活でも子供達が持っているようなありのままの輝きを大切にしたいとインターンを通して感じました。これからは仕事で子どもも大人も幸せにできるような街を作ります！

リデザイン中！

SOKOAGE CAMP

2016年から7年続けてきたSOKOAGE CAMP。過去参加者は200人を超え、気仙沼から始まり様々な地域で実施してきました。この7年間、本当に色々な事がありました。社会の状況や私たち自身が変化してきた中で、SOKOAGE CAMPは何のために存在するのか、どんなことができるのか、2023年度は冬の開催をお休みして、一度立ち止まり内省しています。私を土台に、他者へ、社会へ、どんなことを働きかけていけるのか。SOKOAGE CAMPの変容がとても楽しみです！



MEMO

2023年は、蔵王・秋保・有壁地区と、宮城県内3拠点での開催となりました。蔵王での開催時にはインターン・参加者にもご協力頂き、CAMPの紹介動画をリニューアルしました！さらに、CAMP参加者と気仙沼での教育事例の視察に行ったり、CAMP内のワークショップで創られるオイルバステル絵画の展示会を開いたり、SOKOAGE CAMPから新しい種が蒔かれ、活動が広がっています。



東北ターンLab.

東北ターンLab.は東北に縁のある若者が出会い、学び合うプログラムとして、3期、4期を実施しました。キックオフ合宿で交流を深めたのちに、「リーダーシップ」「居場所」「ウェルビーイング」等のテーマ別に3ヶ月全6回のオンラインゼミで学びを深めました。リポート参加も含め、のべ27名に参加頂きました。4期では宮城県石巻市にて合宿を実施し、地域の活動をめぐり、子どもの遊び場や居場所などの活動についてお話を聞くことが出来ました。引き続き、東北に関わる若者が学び合うコミュニティの構築を進め、地域の活動や団体へ還元する取り組みに挑戦していきます。



日向 志帆
東北芸術工科大学4年生

大学を横断してゼミがあるってありがたい!! 印象的だったのは、ゼミメンバーのほとんどが東北出身・在住だったこと。首都圏の大学に通いながら、東北に関心を寄せてくれていること、一緒に学んでいることが嬉しくて、これからみんなが、自分がどう活かしていくのか、楽しみになりました!



若者エンパワメント

伴走者合宿ヤング!!!

東北地方を主な拠点とし、中高生の活動をサポートする「伴走者」が集まり、知見の共有をする『東北伴走者合宿』の若手スタッフ版『伴走者合宿ヤング!!!』を企画しました。

2023年度は岩手県岩手町と福島県檜葉町にて2回、合宿を実施し、各地域での活動の共有や振り返りを行いました。今年度は、各回の参加者が10～20名ほどになり、また、インターンの学生などさらに若い世代も参加しました。継続的なつながりの中で、コミュニティの広がりや深まりが感じられました。




学生、社会人の学びと交流の場「きっかけ講座」

仙台の大学生、若手社会人向けの学びと交流の場として「きっかけ講座」を仙台市内で計10回開催し、72名にご参加いただきました。毎回、「起業家教育」や「こんな教育者になりたい！」など教育にまつわる様々なテーマについて、教育現場で活動するゲストからお話を聞きし、参加者の皆さんと交流を行いました。



深い学びのコーディネーター

アメリカのスワースモア大学の学生をガイドしました。気仙沼では伝承館を訪れ、石巻ではNPO法人TEDICや一般社団法人はまのねのリーダーと対話会を実施しました。ほとんどの学生は日本すら初めてで、東北の地で震災から立ち上がる人々の思いに触れ、深い内省を繰り返している様でした。個人的には、南三陸で学生が食べたたきらきら丼(4000円)を「安い！」と豪語しており、物価の違いにビビったのは良い思い出です。



Will Gardner
教員

矢部さんのおかげでとても有意義な交流をさせていただきました。被災者の証言を聞いたり、若い活動家と話し合いをしたりして、とても貴重な経験でした。学生は21世紀の色々な課題に立ち向かう東北地方の方々に刺激を受けました。



令和5年度貸借対照表(令和6年3月31日現在)

※単位:円

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金	43,516,492	
前渡金	204,482	
未収入金	402,758	
流動資産合計		44,123,732
2.固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		44,123,732
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金	1,632,858	
未払法人税等	72,000	
預り金	121,804	
流動負債合計		1,826,662
2.固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		1,826,662
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	38,028,494	
当期正味財産増減額	4,268,576	
正味財産合計		42,297,070
負債及び正味財産合計		44,123,732

令和5年度計算書類(令和6年3月31日現在)

※単位:円

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	30,000		30,000
賛助会員受取会費	570,506		570,506
2.受取寄附金			
受取寄附金	11,948,766		11,948,766
3.受取助成金等			
受取民間助成金	4,990,186		4,990,186
4.事業収益			
若者のエンパワメント事業	1,708,283		1,708,283
人づくりを通じた気仙沼のまちづくりに関する事業	5,004,616		5,004,616
組織・プロジェクトの企画相談事業	90,000		90,000
その他目的を達成するために必要な事業	0		0
物品の制作・斡旋及び販売事業	0	0	0
5.その他収益			
受取利息	351		351
経常収益計	24,342,708	0	24,342,708
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
役員報酬	5,013,000	0	5,013,000
給料手当	4,851,129	0	4,851,129
人件費計	9,864,129	0	9,864,129
(2)その他経費			
法定福利費	1,395,859	0	1,395,859
業務委託支出	140,000	0	140,000
謝金支出	85,700	0	85,700
印刷製本費	30,868	0	30,868
会議費	274,764	0	274,764
交際費	78,872	0	78,872
旅費交通費	1,416,208	0	1,416,208
通信運搬費	221,993	0	221,993
消耗品費	152,812	0	152,812
修繕費	15,690	0	15,690
水道光熱費	12,796	0	12,796
地代家賃	444,000	0	444,000
保険料	13,210	0	13,210
租税公課	600	0	600
支払手数料	111,485	0	111,485
新聞図書費	25,080	0	25,080
広告宣伝費	392,430	0	392,430
その他経費計	4,812,367	0	4,812,367
事業費計	14,676,496	0	14,676,496
2.管理費			
(1)人件費			
役員報酬	557,000	0	557,000
給料手当	539,014	0	539,014
人件費計	1,096,014	0	1,096,014
(2)その他経費			
法定福利費	155,097	0	155,097
印刷製本費	153,090	0	153,090
会議費	7,650	0	7,650
交際費	8,502	0	8,502
旅費交通費	146,825	0	146,825
通信運搬費	1,526,295	0	1,526,295
消耗品費	17,516	0	17,516
研修費	374,000	0	374,000
支払手数料	263,195	0	263,195
広告宣伝費	1,577,400	0	1,577,400
その他経費計	4,229,570	0	4,229,570
管理費計	5,325,584	0	5,325,584
経常費用計	20,002,080	0	20,002,080
当期経常増減額	4,340,628	0	4,340,628
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	4,340,628	0	4,340,628
法人税、住民税及び事業税	52	72,000	72,052
当期正味財産増減額	4,340,576	-72,000	4,268,576
前期繰越正味財産額			38,028,494
次期繰越正味財産額			42,297,070

そこそこ団について

NPO 法人底上げ賛助会員をそこそこ団と名称しています。そこそこ団の年会費は賛助会員費に当たり、寄付控除の対象となります。

入団者の4つのワクワク

- 1 年次活動報告書の送付
- 2 秘密のfacebook グループに入れる
- 3 限定イベントに参加できる
- 4 底上げと楽しい事しちゃう!?

賛助会員年会費

- 個人会員 12,000 円/年
- 法人会員 50,000 円/年

ご入金はクレジットカードまたはゆうちょ銀行への振込みが可能です。詳しくは裏表紙の「ご寄付について」欄をご確認ください。

ご支援いただいた団体

Y! ネット募金



リフトバンク
つながる募金



公益社団法人
日本フィランソロピー協会

日本 NPO センター
東日本大震災現地 NPO 応援基金 [一般助成]
第4期・第2回助成

公益財団法人ハタチ基金

その他多数のご支援・ご寄付を有難うございます。

底上げのウェブサイトが2023年度に新しくリニューアルしました！



リニューアルに際し、全体のディレクションをどなたかをお願いしたほうが良いだろう…と相談した結果、底上げ YouthOG で理事でもある阿部愛里さんに依頼しました。コンセプトや構成、撮影まで丁寧にヒアリングいただきながら作り上げてくれました。説明しにくいとスタッフも苦心する底上げという組織のウェブサイトはどの様に完成していったのか、制作秘話を矢部と横山がインタビューしました！

横山沙織 (以下:ひめ) あれはいつでしたっけね。最初にウェブサイト(以下サイト)作りたいって話をしたの…

矢部寛明 (以下:ひろ) あいりがタイに行った時! **阿部愛里 (以下:あいり)** タイに行こうとした時は2022年8月ぐらい。その頃にスタートして、完成したのが去年の報告書を作る頃だったから2023年の4月か5月位かな?

ひめ 前のサイトは作ったの2016年ぐらいだった気がする。そこから6年経って、メンバーが新しくなり、事業の構成も変わってきて、リニューアルした方がいいよね、という話に。わかりにくい団体だから、わかってる人に協力をしてもらおうのがいだろうということ、あいりちゃんに白羽の矢が立ったという。依頼された時のことって覚えてるかな?

あいり おお、来たか。みたいな感じでしたね笑でもわかっている人じゃないと出来ないだろうから、私じゃないとできないだろうなという感じもしてました。

ひめ これまでお仕事として様々なサイトに関わってきたと思うんだけど、底上げが難しいのは、どういうところなんだろう?

あいり 多分、言語化して表現し切っちゃうと、可変性がなくなる。そうすると「なんかこれ違うな」みたいな、「これじゃない」ってなりそうで。その

ままの言葉を使うと、「よくわからないな」という感じのまま、信頼性を担保しつつ、どうフィロソフィーや、ありたい姿を表現したらいいか?このバランスがかなり難しいんだろうなという感じ。実際難しかったです。

ひめ 底上げに対する理解度がめちゃくちゃ高い。笑 さすが。作る時に他の一般的なサイトとは違ってこうしたいと思ったところってあるかな?例えばスタッフを際立たせてるとか、特徴あるのかなと思ったんだけど。

あいり おっしゃる通りで、人が中心になって事業を作ってる団体なので、そこをしっかりと出そうと思いました。あと、その人その人のキャラクターを出すっていうことに、結構注力したかなという感じですかね。面白いと思ったのは、大抵のコーポレートサイトって、自社のPRができればいい、自社のことが分かればいい。そこに特化しがちなんですけど、底上げは東北の他の仲間も掲載したいとか、いろんな人が関わって作ってることとか、そういうを出したいというのは結構特殊なのかなって気がします。

ひろ 仲間だからね。なんかこう、経済合理性の上に乗っかってる会社だと、よく勝負負けるっていうのがあると思うんだけど、そこに、僕は違和感を持って。仲間であれば勝負負けじゃなくて、

共に変化したり、高め合うコミュニティが大事だよなと思っていて。だからかな?載せないって選択肢は、そもそもなかったというかな…。線引いちやうところあるじゃん、うちはうち、あなたはあなたみたいな。それがサイトを作る中で、あんまり意味ないし好きじゃないんだなって、思ったんじゃないの。俺だけ?思ったの。

ひめ …確かに、事業も自分たちだけでやってるといより、色々な団体と色々な面で協働しながら作ってるよね。最近特に、新しいことをはじめる時に単体でやらない。なので、自然な流れだったと言われればそうかもしれない今思った笑

あいり なんかこの内輪ノリが溶け出してる感じがすごいいいなと思って。普通内輪ノリって団体だけに閉じる感じがしますが、底上げの場合は周りも含めてそのノリに巻き込んで。近くで見るとよくわかるんだけど、巻き込まれることが面白いと思って、多分みんな巻き込まれてる。それをどう表現するか?と、まきちゃんとよく話してた。あと、マッピングしてみると、東北がすごく身近というかな…なんていうんですかね?いい意味で小さく見えるというかな。このノリを共有できてる人達が東北6県の中にめっちゃいるって、すごいことだな、と思いついて作りました。

ひろ 底上げはというかな、僕はというかな、他の団体がスタッフがいなくて大変らしいよとか、キャッシュアウトしそうらしいよとか聞くと、もう行っちゃ

うもんね。大丈夫?!みたいな感じで。特に、やっぱり沿岸部に震災後立ち上がった、同じような団体に対しては、思い入れはすごい強いよね。

あいり 事業のページとかもそうですね。パートナーの紹介みたいな感じで、一緒に事業をやってる人を紹介してる。しかも、「なるさんと一緒にこれをやらせてもらってます!」みたいなものとか。この事業をやってますっていうより、この人と一緒にやってますっていうメッセージが送られてきたりするから、面白いなと思って、読んでました。

ひめ あいりちゃんが、「一緒に何かしたい」のページ作るのも、提案してくれたんだよね。

あいり そうですね。ウェブサイトの出口を話している中で、寄付するっていうこと以外の関わり方があるよなって、話になって。それで、「一緒に何かしたい」は、スタッフが思ってるアイデアを公表して、賛同を得るみたいな感じになりました。実際にやるかやらないかというより、こんなことを考えて、こんなこと一緒にやりたいね、と、というようなコミュニケーションができる形になったんですけど、これも結構象徴的というかな、面白いですね。正直、これ何のためにあるんだ?という感じのページかもしれないですけど、すごく底上げっぽさを感じる。

ひろ これ見て、「これやっちゃう?」みたいなノリが、絶対これから起きるなと思ってる。始まったばかりだから、まだまだ起きてないと思うんだけど、起きそ



阿部愛里
底上げ理事/YouthOG

うだなと思ってるよね。

ひめ あと、印象的だったのは、最後まで、「底上げとは」のページの、ミッション、ビジョン、フィロソフィーを書く宿題が残ってて…みんな、私たちのビジョンってなんなんだ。ミッションってなんなんだ。と話していった先に、最終的に「僕たちは、問いを諦めない」というフレーズになりました笑。「できてる感覚を、動く楽しさを、生きる喜びを、すべての若者に」はフィロソフィーとこれまでしてきたけど、本当に理念や哲学なのか?みたいな話になって、悩んだ末にもうこれは夢だよ!とか言って、フィロソフィーというタイトルから「WE HAVE A DREAM」になるっていう…このページはなんかすごい時間かかった末に、出てきてみたら、やっぱり底上げだなって。

ひろ わかる
ひめ あいりちゃんに、こうなりましたって伝える時に、若干勇気が必要だった笑理解してくれてるから、伝わるだろうなと思ったけど、客観的に聞いてどうだったかっていうのを、すごい聞きたいと思ってました。

あいり 私もちよっと、その辺、バグってるんで笑これだね! わかるわかる!みたいな感じになりました笑

ここまで、よく全体で納得のいくものを作ってくれたって感じが。これだけ落とすと思ってる。始めてから、まだまだ起きてないと思うんだけど、起きそ

落とすどころがなくなっちゃうものだと思うんですけど。でも、こうじゃないかって形にできるぐらい、みんなの中に同じものがあるってのはすごいいいなと思います。

ひろ 多分さ、ビジョン、ミッションで考えて、それなりの一般的なものを考えたところで、その時にはそう思ってるんだけど、1年後にはちょっと違うなみたいな事が起こると思う。だけど、問いはそれが起きないよね。本質というかな、コアなものを追求したい、探究したいみたいなことが、強くあるメンバーだと思う。だから、問いになったというのは、今振り返ると、あの時のみんながすぎえなって、思うよね。答えはその場その場で変わると思うけど、問いの質みたいなことは、あんまり変わらないもんね。

ひめ あとはトップページのポップなバナー…これすごいよねみたいな事を言われる。外の人から見た時も、底上げっぽって思うものになってるんだな。決めていく時ってどんな感じだったのかな?

あいり いや、これは大変だったな〜笑。なんかまきちゃんともいろんな話をしたんですけど、やっぱり面白要素を入れたいよねとか、インパクト残したいよねみたいなことを何度も話して。最初、なんか海から上がってこようぜみたいな案でしたよね…ちょっと1月の真冬には海には入れないってなって…

ひめ 最後までなるさんはなんとかできないかって考えてて…笑

あいり どうするどうすると相談しながら、A案、B案作って…神話を再現する案もありましたよね。葉っぱとか、なんか妖怪みたいな。もっというろんな東北っぽいものとか、象徴するものをもっとコラージュに入れたりとかしてたんですけど、ちょっと落ち着かせて今の形になりました。

ひめ 団体としての信頼性と、底上げっぽさとのバランスに気を使ってくれた上でとてもインパクトある感じになってすごくよかったなと思う。

写真を気仙沼で撮れたのも良かったよね。撮影をお願いした写真スガワラのおかげで、いい素材がたくさん撮れて、本当にありがたいなっていうのはありますね。

ひろ うん。なんか写真スガワラのトモミチくんが底上げを撮るのがとても楽しいらしくて。ちょうど今週末、みんなで撮ろうっていうことでトモミチくんに連絡したら、もうすごい、「底上げさんなら!」みたいに言ってきて笑

ひめ そろそろ時間だ…最後に2人から、報告書を見た人にここを見てほしいみたいなところというかな、ウェブサイトをこう使ってほしいとか、一言お願いします。

ひろ このウェブサイト使ってほしいってあんまり言わないよね笑

この感じが随所に現れてるんだと思うよね。問いとかもそうだしさ。最近ブログとかレポートとかも増え



<https://sokoage.org/>

SPRCIAL THANKS!

ディレクション / 阿部愛里 デザイン / 小野寺真希 コーディング / 入江拓巳

てきて、僕自身も、読んでこういうこと思ってたんだーとか、こういうこと考えてたんだ!みたいなのが増えてくるから、すごい財産だなという風に思います。

ひめ ブログができたおかげで、ゆっけも学んでることを記事に書いてくれたりしてるしね。ひろもぜひ書いてください笑 あいりちゃん、どうですか?

あいり 私が1番好きなのはメンバーページです。1人1人のアイテムがコラージュされたりとかしてるじゃないですか。この含みがめっちゃ好きで…おーじは、虫かゴとか入ってるんですけど、なんでなんだろうみたいな。なんでひめが恐竜持ってるの?みたいな。話のネタというかな、「なんでそうなの?」って見てもらえると嬉しいなって。スタッフに「なんでこれなの?」って聞いてみてほしいな。

ひろ いや、ほんと、今あらためてみてもいいサイトだわ笑

ひめ 自分たちでも更新していける、素敵なサイトを作ってもらったので、これからも更新しながら使っていきたいね。今日はありがとうございました!

WEBサイト
みてね~



NPO 法人底上げについて

所在地

〒 988-0077
宮城県気仙沼市古町 2-7-117

MAIL. info@sokoage.org

WEB. <https://sokoage.org/>

運営体制 (2024年7月現在)

理事長	矢部寛明
副理事長	齋藤祐輔
理事兼事務局長	成宮崇史
スタッフ	横山沙織 日野涼音
理事	喜内尚彦 阿部愛里 大谷逸稀 小野寺真希 三浦亜美 牛木力 古瀬正也
監事	山崎賢治
顧問税理士	滝澤正樹

ご寄付について

皆様からご支援頂いた寄付金は、若者のエンパワメント事業、人づくりを通じた気仙沼のまちづくりに関する事業、組織・プロジェクトの企画相談事業に使わせていただきます。

認定 NPO 法人底上げの活動にご賛同頂ける方からの温かいご支援をお待ちしております。

▶ 各社クレジットカード、ペイジー、口座振込に対応しております。以下のリンクまたは QR コードからお申し込みをお願いいたします。



<https://bokinchan3.com/sokoage/donation/bokin/page0.php>

寄付金控除について

特定非営利活動法人底上げは令和 3 年 9 月 17 日付けで、宮城県より「認定特定非営利活動法人（認定 NPO）」として認定が更新されました。これにより、引き続き頂いたご寄付は税制優遇の対象となります。

ご寄付いただきましたみなさまには当法人より、お名前、ご住所等必要事項を記した領収証を発行しております。確定申告時に申告していただくことで、税額控除ないしは所得控除を受ける事が可能になります。詳しくは最寄りの税務署にご相談いただけますよう、お願い致します。



認定NPO法人
底上げ



認定NPO法人
底上げ



SOKOAGE
CAMP



SOKOAGE
CAMP

Special Thanks 底上げにかかわる全てのみなさま
Designed by Nao Kato